

農薬豆知識

病気のお話 《豆类灰色かび病・菌核病》

七月の菜豆畑・・・耳を澄ませば病原菌達の語らいが聴こえてきます。

キャスト

●灰色かび病菌 あだ名:「灰カビ」

フルネーム:「*Botrytis cinerea*(ボトリチス シネレア)」

胞子をブドウの房のように付け灰色に見えるのでラテン語の「房; botrys」「灰色の; cinerea」から命名された

●菌核病菌 あだ名:「キンカク」

フルネーム:「*Sclerotinia sclerotiorum*(スクレロチニア スクレロチオラム)」

頑丈な堅い菌核を作るので「堅い; skleros(ギリシャ語)」をダブルにして名付けられた

灰カビ: キンカクよ、菜豆の花が咲き出したぜ！そろそろ出番だな。

キンカク: おっ、もうそんな時期か。どれどれ。

灰カビ: いつまでも土の中で寝てねーで、早く起きろよ。

キンカク: ああよく寝た寝た。今年は雨が多くて、力みなぎるね！これだけ畑に潤いがあれば菌核が水をたっぷり含んで、キノコも出しやすいつてもんよ。俺はキノコから胞子を飛ばすんだ。



菌核病菌のキノコ
(胞子を飛ばす)

灰カビ: 今年なら雨は多いし昼も夜も涼しくて、動きやすいぜ。バンバン胞子飛ばすぞー。

キンカク: ああ、確かに。日照りで暑い年はやりにくいがな。

灰カビ: 風を捕まえて、じゃあ一足お先に～。また花の上でな。

菜豆の花 咲く頃～♪

キンカク: 菜豆の花 咲く頃か... 葉も茂って、キノコになるにはイイ感じの日陰だ。気温も 14～20℃でバッチリ。ぼちぼちトランスフォームするか。

灰カビ: 菜豆の花は 我らの導火線♪タリラ～～♪ 花は柔らかくて感染にはもってこいだ。

キンカク: 妙な歌...。さて、今年は上等なキノコが作れたぞ。これで胞子も上手く飛ばせるよ。

灰カビ: キンカクもしぼんだ花とか痛んだ葉とか弱い所に付け込むよね。

キンカク: まあ、弱い部分から侵入して、腹ごしらえして力付けて、株全体の侵略を目指すのが俺のやり方よ。あとはフロンサイドやスミレックスさえ散布されなければな... あの2剤だけは勘弁して欲しいぜ。あれを撒かれたら俺の夏は終わりよ。

灰カビ: キンカクは調子に乗ると激しいからなあ。莢だけじゃなく株ごと駄目にしちゃうもんね。コワイコワイ。

キンカク: やる時はやるよ～土の中でこの時を待ってたんだから、莢だけ



灰色かび病の莢
(胞子が出来て灰色)

で我慢する必要はないさ。

冬を越すために頑丈な菌核をどんどんつくらんと！ところで灰カビはどうやって冬を越すんだ？

灰カビ: 枯れた茎なんかを寝袋にしたり、菌核に化けたりしてさ。お前ほど大きい菌核は作れないけどな。菌核で休んでおいて、季節がきたらまた胞子や菌糸になって暴れるんだ。

キンカク: ほう菌核かい。灰カビは胞子をポワポワ～ポワポワ～っと出すのはよく目にするけど、菌核も作るのか。

灰カビ: とところでこの畑、来年は何作るんだろう。

キンカク: イモがいいなあ。キャベツ、レタス、ナタネでもいいぞ。ヒマワリなら最高(恍惚)。ビートやコムギは



菌核病の莢
(茎も発病)

嫌だね。

灰カビ： ああ、イモいいね。俺もイモの花で一儲けできるぞ。まあ、俺は嫌いなものは少ないけど。

キンカク： 確かにお前は好き嫌い少ないよね。だから「多犯性(たはんせい)」なんて有り難くないキャッチフレーズを付けられるんだよ。

収穫の秋... 舞台となった圃場では、開花始め5～7日目に1回目、その後10日毎に計3回、異なる系統の薬剤散布がぬかりなく行われました。こうして、灰カビとキンカクの野望は夢と潰えたのでした。

「菜豆や つわものどもが夢の跡」

(2009年8月 岡ちゃん記)